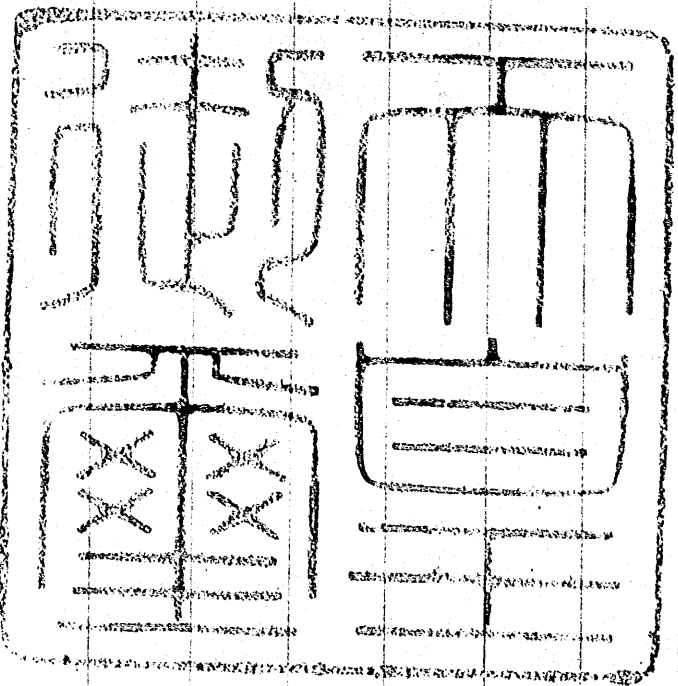


勅令第四百七十六号



朕一年現役兵條例ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公
布セシム

喜嘉仁



大正八年十一月二十六日

内

閣

内閣總理大臣 原 嘉
陸軍大臣 岡 本 義 一

勅令第四百七十六號

一年現役兵條例

第一條 徵兵令第十四條ノ規定ニ依リ
一年現役兵トシテ現役ニ服スヘキ者
ハ師範學校卒業ノ年又ハ其ノ翌年入
營セシメ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ
其ノ教職ニ在ル地又ハ其ノ師範學校
所在地ノ師管内ノ歩兵聯隊ニ編入シ
服役セシム

朝鮮臺灣樺太關東州又ハ支那ニ於テ

教職ニ在ル者ヲ編入スル部隊ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第二條 一年現役兵ノ現役年期ハ其ノ入營ノ年ノ四月一日ヨリ起算ス

第三條 一年現役兵ノ入營期日ハ毎年四月一日トス

第四條 一年現役兵傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ前條ノ入營期日ニ入營シ

難キ者ニ付テハ師團長臺灣ニ於テハ臺灣軍司令官ハ其ノ月三十日迄ニ於テ其ノ入營期

日ヲ指定スルコトヲ得

第五條 陸軍大臣ハ戰時又ハ事變ノ際其ノ他必要ノ場合ニ於テハ第一條第一項ノ規定ニ依ル服役部隊又ハ前二條ニ規定スル入營期日ヲ變更スルコトヲ得

陸軍大臣ハ前項ノ規定ニ依リ入營期日ヲ變更シタル場合ニ於テ第二條ノ規定ニ依ル現役年期ノ起算ノ日ヲ變更スルコトヲ得

第六條 陸軍大臣ハ其ノ定ムル所ニ依
リ一年現役兵入營ニ際シ已ムヲ得サ
ル事故アル場合ニ於テ前三條ノ規定
ニ依ル入營期日ノ後十日内其ノ入營
期日ヲ延期スルコトヲ得

第七條 第四條ニ規定スル事故ニ因リ
四月三十日迄ニ入營シ難キ者ハ翌年
之ヲ入營セシム

第八條 一年現役兵トシテ現役ニ服ス
ヘキ者ノ身體検査ニ關スル事項ハ陸

軍大臣之ヲ定ム

第九條 一年現役兵ハ入營後概テ四月
ノ後之ニ一等卒ヲ概テ六月ノ後之ニ
上等兵ヲ命ニ概テ九月ノ後之ヲ伍長
ノ階級ニ進メ現役満期退營ノ際軍曹
ニ任ス

第十條 一年現役兵左ノ各號ノ一ニ該
當スルトキハ前條ノ規定ヲ適用セス
一 怠慢ニシテ勤務ヲ習得セサル者
又ハ習得ノ見込ナキ者

二 軍紀ヲ紊リ、法則ヲ犯シ又ハ品行不正ニシテ改悛ノ見込ナキ者

第十一條 一年現役兵前條ノ規定ニ該當スル者ヲ除ク

ニシテ豫備役後備役將校タルノ希望

ヲ有スル者ハ志願ニ由リ現役満期前終末試験ヲ受ケルコトヲ得

第十二條 前條ノ規定ニ依リ志願シタル者傷痍疾病等ニ因リ終末試験ヲ受ケサルトキハ現役満期後一年内ニ終末試験ヲ受ケルコトヲ得

第十三條 前二條ノ規定ニ依リ終末試験ヲ受ケタル者ニ付テハ學科及術科ノ試験ノ成績ト平素ニ於ケル勤務ノ成績トヲ參酌シテ及落ヲ決定シ及第者ニハ終末試験及第證書ヲ交付ス

第十四條 一年現役兵傷痍疾病ニ因リ現役ニ堪ヘサルトキハ現役ヲ永久兵役ニ堪ヘサルトキハ兵役ヲ免除ス

前項ノ規定ニ依リ現役ヲ免除セラレタル者ハ第一國民兵役ニ服セシム

第十五條 一年現役兵ニハ給料ヲ給セ

ス
身體検査ノ為、往復旅費、入營旅費及
歸郷旅費ハ之ヲ給ス

第十六條 朝鮮、臺灣、樺太、關東州又ハ支
那ニ於テ教職ニ在ル者ニシテ一年現
役兵トシテ現役ニ服スヘキモノニ関
スル調査ハ朝鮮總督府、道知事、臺灣總
督府總務長官、樺太廳長官、關東廳事務
總長又ハ領事官ヲシテ之ヲ為サシム

ルコトヲ得

附則

本令ハ大正八年十二月一日ヨリ之ヲ施
行ス

陸軍六週間現役兵條例ハ之ヲ廢止ス
大正七年法律第二十四號附則第七項乃
至第九項ノ規定、適用ニ付テハ仍從前
ノ例ニ依ル